

# 初期投資 **0** ゼロで自家消費型太陽光発電設備の導入が可能です！



## 太陽光発電導入のメリット

CO<sub>2</sub>の排出がなく、地球環境に貢献

企業イメージの向上・ESG投資の呼び込みにつながる

災害時などの停電時でも電気が使える

電気料金高騰の影響を低減できる

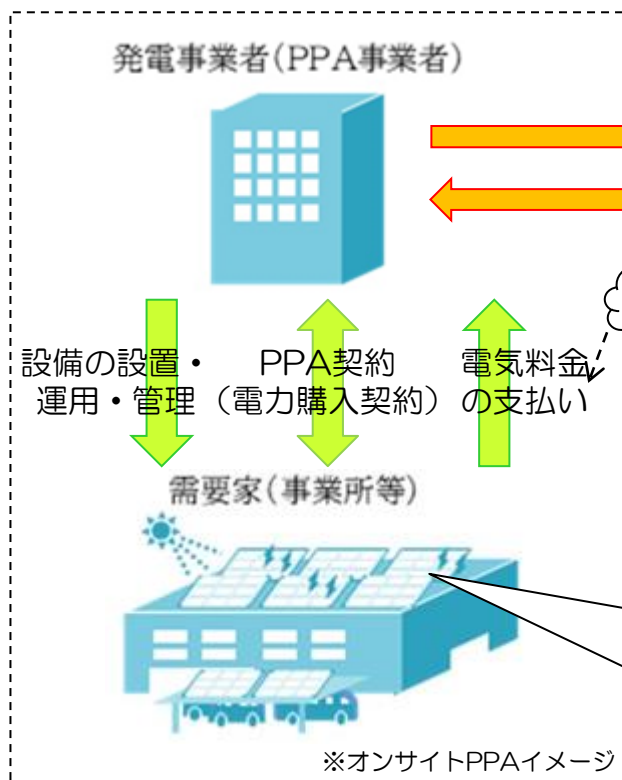


## 太陽光発電導入のデメリット

初期投資  
運用・保守の  
コストが高い

➡ 「オンサイトPPA」をご検討ください！

## オンサイトPPAは、初期投資0ゼロの導入モデル



令和5年度の補助金はこちら！



滋賀県はPPA等普及促進のため、補助金を実施し、PPA契約中の電気料金の軽減を行っています。

PPA契約中、需要家は発電事業者から電気を購入しますが、契約期間後に発電事業者から需要家に太陽光発電設備が譲渡されます。

※利用条件は契約内容によって異なるため、発電事業者と契約内容をご確認ください。

## オンサイトPPA

発電事業者が需要家の敷地内に太陽光発電設備を発電事業者の費用により設置し、所有・維持管理をしたうえで、発電設備から発電された電気を需要家に供給する仕組み。

※PPA：Power Purchase Agreement(電力購入契約)の略。

# オンサイトPPAモデルによる導入事例の紹介 (令和4年度滋賀県PPA等普及促進事業補助金交付事業)

## 事業概要・効果

発電事業者	こなんウルトラパワー株式会社 
施設名 (需要家)	小規模多機能型居宅介護事業所「樹林」 (株式会社なんてん共働サービス) 
導入設備	太陽光パネル (出力: 11.25kW) パワコン (出力: 5.5 kW) 蓄電池 (容量: 13.5kWh)
電力用途	全量自家消費
事業費	総事業費: 288万円 (うち補助額: 55万円)
CO <sub>2</sub> 削減効果	4.4t-CO <sub>2</sub> /年



## 発電事業所の声

今回は事前の使用電力量調査と相対費用効果から、高需要時の電力負荷を軽減できる11kWの太陽光パネルを選定しました。4月から運用を開始し、期待通りの効果を得られています。発電量および蓄電量はクラウドで遠方管理ができるため、今後も運用に合わせて最適調整していく予定です。

今まで太陽光パネルは南向きで設置するケースが多かったのですが、需要に対応するため東西に設置して1日中発電するなどのノウハウが蓄積され、設置場所が限定されなくなってきました。湖南市は第2回脱炭素先行地域にも選定されていることもあり、今後もPPA事業を展開していきます。

## 需要家の声

2019年4月に事業を開始し、主に介護のショートステイサービスを提供しています。建築時に再生可能エネルギーの導入を検討しましたが資金不足により断念していたところ、湖南市からオンサイトPPA等普及促進事業(補助金)の助言をいただき、導入に至りました。

電力の使用は、建屋空調、照明および調理器具で、主に日中の需要が高いものの、施設は24時間365日稼働しています。地球温暖化対策への貢献に加え、施設の運用費削減および停電時の重要設備稼働に期待しています。

### 【問い合わせ先】

滋賀県総合企画部 CO<sub>2</sub>ネットゼロ推進課 事業者支援係  
TEL 077-528-3090  
MAIL cg02@pref.shiga.lg.jp

